

## 文学部

### 教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー

#### 【教育目標】

文学部は、大阪大学の教育目標を承け、また自由と独創を重んじ広く社会に開かれた学問所であった「懐徳堂」の精神を受け継いで、以下のような人文学の特質と現代社会の要請を重視して人材育成を行います。人文学は、日本および諸外国の精神文化と物質文化の両面にわたる人間の営為を、①過去から現在にいたる時間的変化のなかで広く関連づけてとらえる、②本質や原理にまでさかのぼって考え抜く、③対象に深く分け入り内在的に理解する、という特質を持っています。また現代社会は大きく変貌しつつあり、現代社会の諸問題に対応した分野横断的で総合的なアプローチの必要性が高まっています。文学部は、これらに鑑みて、思想、言語、歴史、文学、芸術にまたがる「総合的な人文学教育」を推進し、次のような人材の育成を目標とします。

1. 人文学的知を通して自己を深め、世界を探求し、人文学の幅広い教養と高度な専門性を身につけ、現代の課題に取り組み、人間社会の未来を構想できる人材を育成します。
2. 豊かな日本語能力と国際共通語である英語、そして専門分野に必須の諸外国語の運用能力を涵養し、国際的に通用するグローバル人材を育成します。

#### 【ディプロマ・ポリシー】

大阪大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、文学部は以下の能力や学識の修得を学位授与の要件とします。

1. 多くの事象にわたる幅広い総合的な人文学的教養と、人文学を超えて学問全般にわたる広い教養を身につけている。
2. 国際的活動の基盤として、2つ以上の外国語の運用能力ならびに異文化理解の能力を身につけている。
3. 専門的知識を系統立てて身につけている。
4. 専門分野における次の研究の方法と能力を身につけている。
  - 各種データや文献資料を収集・読解・分析する能力
  - 日本語や外国語で、研究成果や自分の知見を分かりやすく発信するデザイン力
  - 立場や意見の異なる相手とも実り豊かな議論を行うコミュニケーション能力
  - 調査・研究において独創的な着眼点や新たな知見を生み出す感性と探究能力
5. 調査・研究の成果、ならびに自分の知見を、明解な論旨の一貫した構成の論文やレポートにまとめる論述能力を身につけている。
6. これらの能力をもとに、人間の精神的・文化的営みを深く内在的に把握すると共に、社会と文化の変遷を巨視的な観点に立って意味づけ理解する力を身につけている。またその理解を表現する豊かな文章力を身につけている。

### 【カリキュラム・ポリシー】

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、文学部は以下の方針でカリキュラムを編成します。

1. 4年間の学士課程を通して全学共通教育科目等を履修することにより、人文学を超えた様々な学問領域にわたる教養を身につけます。2年次以降の専門教育では、所属専修以外の専修で開講される科目ならびに学部共通の科目の履修により、幅広い人文学的教養を身につけます。
2. 全学共通教育科目の「外国語教育科目」と「国際教養科目」の履修により、2つ以上の外国語を学習し、異文化理解の能力を身につけます。専門教育では、文学部共通の「外国語による発信力を育成するための科目」、外国語文献を用いる演習、外国語による授業等を選択して履修し、外国語の運用能力を伸ばします。
3. 全学共通教育科目の「専門基礎教育科目」および専門教育科目の「文学部共通概説」の履修により、人文学の基本を習得します。2年次以降は、専修で開講される専門教育科目の講義と演習を履修して、当該分野の専門的知識を系統的に習得します。
4. 少人数双方向の演習科目の履修により、日本語ならびに外国語の文献資料の読解・分析の能力を養います。また特定テーマをめぐる報告・討論を通して、主体的に考究・発信する能力、コミュニケーション能力を伸ばし、学問研究の方法を習得します。
5. 専門教育科目では、与えられた課題を十分に探究・考察し、その結果を的確かつ論理的に構成・発信する能力を、多様な方法で評価します。
6. 最終年次には卒業論文の作成を課します。自主的に課題を設定し、その研究計画を構想・実行することで、人文学的教養と専門的学識を総合する豊かな論述・表現能力を養います。

### 【アドミッション・ポリシー】

文学部では、哲学、歴史学、文学、芸術学、日本学など多岐に渡る教育・研究が行われており、その対象や課題は広大な領域に及びます。いずれの専修に属しても、広い視野と教養を持ちつつ、主体的に課題を探究し、客観的かつ多面的な考察・分析を行い、その成果を明晰に表現することを学びます。

文学部は、大阪大学のアドミッション・ポリシーにもとづき、かつ学部のこの特質にしたがって、人文学の修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。試験は、センター試験および個別学力検査（前期日程入学試験、後期日程入学試験）によるものとします。

1. 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語についての基本的な知識および理解度を判定します。
2. 日本語および外国語の文章読解力および文章作成力を考査します。
3. 正確な知識と論理的な思考力をもって、人間の精神的・文化的営みを把握しているか、日本および世界の社会と歴史を多面的かつ総合的に把握しているか、を判定します。
4. 独創的な発想力と独自の感性を持っているか、自分の言葉で表現できるか、修得した知識を活用できる思考力を持っているか、を判定します。
5. 留学生については、私費外国人留学生特別入試を実施し、日本語能力と論理的な思考力を身につけ、勉学への意欲に溢れる人を選抜します。